



向陽坂通信

2011 秋号(通算 5 号)

長野県下諏訪向陽高等学校

「来たれ向陽へ」

学校長 小林 義昌



今年最後の月12月になりました。桜香漂う春、今年も猛暑だった夏、黄金色の落葉松が舞い散る秋。そして夜空に奇(くす)しき光を放つオリオン座に心洗われる冬を迎えています。皆さんにとって平成23年はどんな年だったでしょうか。きっと、五感を通して感じた季節の中で、豊かな心が育まれた一年だったことと思います。



向陽高校も「学習・進路」「クラブ・生徒会活動」「地域との連携・貢献」を3本柱に、豊かな学力、豊かな心身、豊かな人間関係を築きあげることが目標に、授業やクラブ活動、様々な体験学習や行事にと、全校が一丸で取り組んできた一年でした。クラブ活動での全国レベルの大活躍もありました。3年生はそれぞれの進路の成就を目指し、苦しい修羅場を、集中力と継続で最後まで粘ってきました。1、2年生も学習はもちろん、スポーツの秋、芸術の秋に今まで以上の成果を見せてくれました。積み重ねてきた日々の学習や鍛錬の賜物だと思っています。



中学生の皆さん、一人でも多くの皆さんが本校の教育活動に興味を持っていただき、安心の学校生活の中に明るい笑い声が校舎内外に響く向陽を、皆さんの活躍でさらに輝かせていただければ幸いです。



大学がやってきた！～出張大学模擬講義～

大学・専門学校の教授・先生方にお越しいただいて「出張大学模擬講義」が行われました。大学説明会など異なるのは、その名の通り実際の「講義」が行われる点。模擬講義を受けるのであればオープンキャンパスに参加するのが一番かも知れませんが、現地に行くまでが一苦労。でも大学の講義がどんなものか知りたい…という声にお応えしたのが本行事です。高校にいながらにして大学の講義を受けられるのです。生徒たちは90分間という長丁場に戸惑いつつも、真剣な眼差しで講義を受けていました。



スポーツの秋、芸術の秋

秋季クラスマッチやマラソン大会、本校野球部による野球教室…さまざまなスポーツ行事が行われました。また、本校初となる合唱コンクールが、32期生(1年生)によって開催されました。



9/29 合唱コンクール
優勝は1-4「YELL」

10/6 マラソン大会
出場生徒全員が完走！

10/20 クラスマッチ
秋季はサッカーが追加

11/27 少年野球教室
先生役の高校生も
真剣です



各部活動の活躍

新人戦の南信・県大会が9～11月に行われました。新体制でスタートした各部活が、現段階での実力をはかる上でも重要な大会です。全国選拔出場を決めた漕艇部や、名だたる私立高校に混じって県ベスト4に入った女子バレー部をはじめ、好成績を収めました。2012年夏に行われる北信越インターハイでも、向陽生の活躍する姿が見られることを期待します。

- ・漕艇部(女子Wスカル) 北信越5位→全国選抜へ
- ・女子バレー部 全日本バレーボール高校選手権(旧春高バレー)長野県大会ベスト4

●その他県大会出場クラブ

卓球(男子シングルス) バドミントン(女子団体・シングルス) 陸上 ソフトボール 弓道(女子団体)

インターハイ制覇！(陸上競技3000mSC)

本校3年の小林巧くんが、北東北インターハイで全国高校生の頂点に立ちました。残り1周で一騎打ちとなった決勝は、ラスト300mからのスパートで他選手を引き離してゴールイン。1983年に同種目がインターハイに採用されて以降、県勢の優勝は初。決勝では従来の県高校記録を0秒85更新しました。また、11月に行われた県縦断駅伝でも区間賞の力走で、全諏訪39年ぶりの優勝に貢献しました。将来の夢は箱根駅伝出場という小林くん。お正月、テレビで彼の姿が見られることを期待しています。

